

# みのひろし後援会だより

編集・発行／みのひろし後援会 会長 岩崎正司（事務所/北広島町南方2830）電話0826-72-2618 きたひろネット050-5812-4661

## 町民憲章に学び、

## 箕野町政一層の前進を

後援会会長 岩崎 正司

私たちは、先人たちの思いを受け継ぎ、源流域の自然と田園文化が息づく北広島町で暮らすことに誇りを持ち、平和で豊かな郷土を築くためにこの章を定めます。

一 自然の恵みを大切にし、生かし、美しく住みよい町をつくりまします。

一 伝統を大切にし、文化を高め、次世代につながる町をつくりまします。

一 一人を大切にし、互いに認め、思いやりのある町をつくりまします。

一 地域の産業を大切にし、希望あふれる町をつくりまします。一 健康を大切にし、笑顔が輝く活力ある町をつくりまします。

平成二十七年 二月一日 制定

以上が、北広島町役場本庁玄関前の石碑に刻まれている町民憲章です。箕野博司町長は、憲章にある様に「新しい地域づくり」「ふるさとづくり」を公約を掲げ、派手さは無いが、持ち前の「実直さ」で着実に実績を積み上げています。

先の9月議会に於いて、三選出馬を表明されました。二期目事業で道半ばのものもありました。3月2日告示、7日投開票の選挙戦を町民皆様の信認により、引き続き町政に取り組んで頂かなくはなりません。

3期目の公約の一つとして「光ファイバー関連事業」を掲げておられます。この事業は、町長が得意とするものでもありませんし、次の時代を背負ってくれる若い人たちに欠かせない事業と考えます。

後援会としては組織強化を図り、支部別町政懇談会・後援会総会等、青年部・女性部の力添えを頂きながら実施していく所存です。一層のご支援、よろしくお願い致します。

## 「元気なまちづくり」に

## 向けての決意

町長 箕野 博司

早いもので、平成25年3月に町長に就任させていただいてから、7年半が過ぎました。この間、私は公約の実現や、様々な課題解決に向け、全力で取り組んで参りました。

財政の健全化については「実質公債費比率」を約3%減少させることができました。これは、小中学校施設の新築・大規模改修やエアコン設置、消防無線のデジタル化、豊平どんぐり荘、大朝体育館、北広島町図書館、豊平診療所等の大規模改修など、多くの投資的的事业に取り組んできた中にもあっても、実現したものです。

また、若者定住を中心とした定住対策・子育て支援策、集落活性化対策の基盤づくり、観光交流の促進や、産業・経済の活性化対策など、「住みやすいまちづくり」に向けて積極的に取り組んできたところです。

地域活性化の取り組みとしては、集落支援員・地域おこし協力隊等の導入、平成27年度から地方創生総合戦略を策定し、令和元年度か

ら「人づくり」や「協働のまちづくり」に取り組んでいます。「きたひろ学び塾」を中心に「人づくり」を進め、若い人々を中心に新たな地域づくり、まちづくりの活動も始まりつつあります。「協働のまちづくり」では「スポーツをキーワードとした地域の活性化」を進めているところであり、元気づくり推進事業の展開も含め、従来のスポーツの定義をもっと幅広いものとして捉えて取り組んでいます。

この7年間の人口は、自然動態では1500人余りのマイナスですが、転入・転出の社会動態はプラス87人となり、人口減少にある程度歯止めがかかっていると考えています。

しかし、これまでの取り組みでは、道半ばのものも多くあります。今年度は国の要請もあり、想定より前倒しでFTTH化事業（光ファイバーによる高速ブロードバンド化事業）に取り組んでいます。今年度から3年間の継続事業となるものです。

この光ファイバー網を活用することによって、北広島町が抱える課題の解決を図ることができてきます。農林業・観光・地場産業・生活交通・医療・福祉・教育などあらゆる分野に影響を与えること

になり、スマートシティならぬスマートカントリーの実現を目指します。若い人達の夢や意見も大いに取り入れ、しっかりと活用していかなければなりません。

今はコロナ禍の中で、イベントや地域行事のほとんどが中止という状況ですが、伝統芸能や歴史・豊かな自然環境などの町内の資源を生かし、町民の皆さんが主役の協働のまちづくりを進めていきたいと考えています。

また一方で、人口減少・経済縮小時代において、交付税では合併特例加算が既に全く無くなりました。財政規模の縮小にどう対応していくかが、喫緊の課題であります。その課題解決に挑戦していくためには、協働のまちづくりを基盤とし、「自分たちの地域は自分たちで守っていく」という基本的な考え方をもち、地域内経済循環の仕組みづくりや、地域の活性化の実践・活動を進めていかなければなりません。

私は、全身全霊を傾注し、そうした課題解決に取り組み、さらに「明るく元気なまちづくり」を目指し、素晴らしい郷土を次世代に繋げていきたいと決意したところでありました。再び町民の皆さんから、ご信任をいただき、全力で取り組ませていただきたいと考えております。どうか、よろしくお願い致します。

# 箕野町政3期目を目指して

## 後援会組織の

### 拡充と団結を

後援会副会長 中村 勝義

みのひろし後援会の皆様方には、ご健勝でご精励の事とお慶び申し上げます。後援会だより発行時には秋の農作業の方はほぼ終えられ、新米を頬張りながら一家団欒ゆつたりとした気分にならぬながら暫しのひと時を満喫されておられるものと想像しております。

他方、未曾有の国難とも云うべき新型コロナウイルスの世界的大流行の方は今後どうなるのか、収束はいつになるのか全く不透明の昨今です。みのひろし後援会活動も、結成後早や8年を迎え、任期も残すところあと数か月となりました。この間のご支援、ご協力に対し、心より厚くお礼申し上げます。

箕野博司町長は9月定例議会に於いて来年3月の町長選立候補の決意表明をされ、その事は高承の通りでございます。箕野町長は、人口減・財政難の今、若い人につけを回さなために嫌われ役にもなっております。

優しさの中にも時勢を見て、判断・決断されてきたことが、2期8年の実績にも表れています。今のところ、選挙になるかどうか分かりませんが、後援会としては、一層気を引き締めたいと考えてはなりません。

後援会会員の大募集と増員による組織の拡充と一致団結の下、強固な後援会活動再開が最も必要であると考えられます。その為にも皆様方より一層のご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## エール

後援会顧問 野村 常雄

今年は、世界中コロナで大騒動となり、終息の見通しもなく、どこに行ってもマスクに手の消毒。幸いにも北広島町では今のところ確認されていませんが、油断できない状況が続いています。

立憲民主党では、枝野新党首として新たなスタートを切りました。これからさらに大きくなって、2大政党に成長できるか注目されるところです。

一方、安倍総理が山積する問題を

解決しないまま、突然に辞任し、菅総理が誕生しました。1億5千万円の河井問題は、どの様に解決されるのでしょうか？ 現金を受け取った人が責任を取って辞職した人もありますが、居座る人もあります。このまま良いのでしょうか？この問題が解決しないと、北広島町・広島県が次に進むことが出来ません。

箕野町政も2期目から3期目へと向かっています。解決すべき問題は山積しています。財政再建、過疎対策、教育・子育て、公共工事(道路)、福祉政策(高齢者の運転免許)、農業(農地集積)、これまでは総花的に政策が進められてきたように感じますが、これからは思い切った目標を定め、広島県で一番、いや日本で一番と言えるものを実現してほしい！

## 令和2年の苦悩

後援会顧問 田村 忠紘

穏やかな天気と世相のうちに新年を迎えて、平穏な令和2年の幕開けを感じさせましたが、現実は大変厳しいものになりました。

先ずは、新型コロナウイルスの世界的な蔓延です。

中国に端を発した新型コロナウイルスが日本に上陸したのは、豪華ク

ルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」が横浜港に寄港してからでした。驚く速さで首都圏を中心に各地方へ広がりました。新型コロナウイルス関連で死亡された方が、全国で1512人、入院療養中の方が6115人(いずれも9月20日現在)で、感染者は今も1日数百人規模で増え続けています。

手洗い・マスクの着用と3密を避けるよう心掛けて北広島町から感染者を出さないようにしましょう。

次に、昨年7月の参院選広島選挙区の河井克行代議士夫妻による大規模買収事件です。買収金総額約2900万円を百人に配ったとして現在公判中の事件です。

票を金で買う行為が現存するのかと耳を疑った事件です。

参院選は全県1区なので、買収範囲も県内全域にわたっています。従って今回は、広島県全体が汚染されたこととなります。マスコミはこの事件について、毎日のように報道しています。その度に県民の一人としてつらい思いをします。北広島町にも影響があり、一層強く感じます。

この事件で検察は、百日裁判での早期決着を目指しています。早く元来の静かなふるさとに帰着することを強く望みます。

箕野町長さんが、来年の3月を以

て、2期目の任期を終えられます。既に3期目に向け立候補の意思を示されました。行政は、3期目が一番充実して仕事のできる期と言われています。頑張っていたいただきたいと思っています。

「信頼」「実行」の  
北広島町長

後援会顧問 佐々木 勘三

箕野博司町長におかれては、町民の信望あつく、町政諸般について懸命にご尽力されている次第であります。

わけても、芸北地域におかれては、広島県下で唯一の高校教育課程の分校、芸北分校にあたたかいご理解ご支援をいただいております。

昨今は町内の千代田・大朝・豊平地区をはじめ、町外の各方面からも入学希望があり、充実した活力ある高校として存立しています。箕野町長をはじめ、関係各位に感謝申し上げます。

このうえは、本後援会が益々結束のうえ、発展されますことを祈念いたします。



初心を忘れず!

後援会顧問 榎木 茂

コロナ禍の終末が見えない中、かつて猛威を振るっていたスペイン風邪と同じように、我々もこのコロナ禍を克服しなければなりません。

こうした困難の時に、町長は誤ることなく、今日までの行政を執行してこられました。町長2期目も残すところ4か月余りになり、町長の椅子も温まつてきて、知らないうちに少々支配する思想も芽生えてきたかもしれません。が、初心を忘れる事なく多くの町民と語り合い、中国山地の特色ある立地に展開する「ふるりの明日」に思いを寄せてください。

リーダーとして常に、町民の中に在り続け、町民福祉増進のため、挺身されることを祈念いたします。

持続可能な北広島町へ

青年部 池田 恭二郎

菅義偉首相の目指される日本は、今後明らかになってくるものと思います。私たちにあって、良い影響・悪い影響、様々な影響を与えてくださるものと考えます。どのような社会になるうとも、私たちは今を懸命に生きていくほかございません。政

府へは、「派閥や党派に分かれ意見の対立を深めるような事はしない」「他の悪口や不平不満を陰で言うのではなく、建設的な議論を進めていただきたい」と願います。

聞くところによりますと、菅首相が早速、河野太郎行政担当相へ、国民からの意見を聞く「縦割り110番」を指示されたとのこと。これは、役所の縦割りによる弊害、既得権益、前例主義の打破を目的としたものとのことです。この事で少しでも国民の生きた声が政界へ届き、持続可能な社会になることを期待しております。

大変僭越ではございますが、箕野博司町長へは、3期目への期待とお願いを込めまして、政府への要望と同様に、「和を以て貴しとなす」精神で、目指すべき方向、良き方向へ、納得のいくまで議論をしていただきたい。何が最善で最良か、10年後20年後に地域を担って活躍したいと思える人が多く集まる地域にする為の施策や企画、「縦割り110番」を活用した前例のない改革を着実に実行していただきたいと思っております。

私事ですが、青年部の一員として、町民の一員として、協力すべき所は協力させていただきます。時には、言うべき事は徹底的に議論させていただきます。



ただき、行政だけに頼るのではなく、みんなで北広島町に対する愛があふれるまちづくりをし、町の魅力をよりPRできるよう、微力ながら尽力できればと思っております。

### この町を『好き』と 云えるものとして

女性部 小田 玲子

この度、現箕野町長が3選目を目指し決意されたこと、非常に嬉しく思います。私も人生の3分の2を穏やかに過ごしてきました。二十歳の時に千代田ICが開通し、川井の赤い橋まで歩いたことが懐かしく思い出されます。それからも町の変化を見守ってきました。

そして今、新型コロナウイルス。こんな体験をするとは思っていませんでした。このコロナと如何に共存していけるか、模索しながらの生活です。国の対策も日々変わり、対応も大変ですよね。

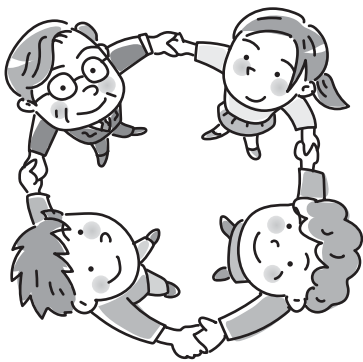
こんな大変な時に町長選です。今までの様にはいかないでしょう。それでも、日々町民のことを考えて進めておられる政策。色々問題がある中でも、私は箕野町長のテーマの一つである「人づくり」の政策がとても気に入っています。

「杜（もり）は人財なり」人間力、生きる力が大事だと思し、未来の子どもが夢を形にしていける地盤が作り出されています。少しずつですが、確実に進んでいます。少しでも欲しいポイントの一つです。

また、現在進行中の地域づくりセンターも完成に近づき、楽しみが増しています。若い若きも集い、それぞれの思い出づくりの場となるよう、現町長には先頭に立ち、前進していけることを願います。

それには、仲間、町民の皆様の支えを必要とします。皆さんとワンチームで、北広島町の成長に繋がっていきましょう。

『この町好き』いいね！と  
笑顔で挨拶できる町を！



## 町政懇談会のご案内

11月28日(土)	大朝グリーンヒル
11月29日(日)	芸北文化ホール
12月 5日(土)	豊平どんぐり荘 別館会議室
12月 6日(日)	JA広島北部千代田支店3階

いずれも14:00～16:00です。

\*感染防止対策のため、体調の確認とマスク着用をお願いします。